

ゴミ減量学ぶ 常滑で講演会

家庭ゴミ減量の大切さを学ぶ講演会が2日、常滑市新開町の市福祉会館で開かれた。同市は10月1日から家庭ゴミの指定袋を値上げする。ゴミ処理手数料が上乘せられるもので、大型袋(45ℓ)が10枚入り500円(現行80円前後)、同じく中型(30ℓ)は300円(同50円前後)、小型(20ℓ)は200円(同40円前後)となる。手数料は基金に積み立ててゴミ処理や環境政策に充てられる。

講演会は値上げをきっかけに、ゴミ減量の意識を市



ゴミ減量の大切さを学ぶ講演会

民に高めてもらおうと、市や市民グループが開いた。講師を務めた東洋大学経済学部の子谷修作教授は値上げに関連し、「ゴミを減らせば家庭の負担は少なくなる。一方で、行政のゴミ処理費用削減や手数料収益により、これまで以上にゴミ減量を手厚くできる」などと話した。同時に、「手数料が環境政策に充てられることを住民に明示することが必要」とも述べた。